事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

<u>1</u> 事業者等の	事業者等の概要									
氏名又は名称	東急不動産株式会社									
代表者名	氏名		星野 浩明		役職名	代表取紹	6役社長			
主たる事務所 の所在地			東京都渋谷区道	直玄坂 1	-21-	1 渋谷ソラスタ				
主たる事業	大约	分類		K 不動	産業、物品	品賃貸業				
の分類	中為	分類	(5 9 不重	协産賃貸業	・管理業				
主たる事業 の概要	茅野	茅野市、信濃町、軽井沢町においてリゾートホテル及び別荘事業を運営している。								
	✓	条例第12条第2	1項第1号及び条	列施行規	則第4条第	52項第1号に該当っ	する事業者			
制度に該当する		条例第12条第2	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者							
要件		条例第12条第2	列第12条第1項第2号に該当する事業者							
		上記以外(任	己以外(任意提出)の事業者							
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年	E度報告	第二年度報告	第三年度報告			
原油換算エネル ギー使用量	kl	4, 079	3, 997		3, 930	4, 315	4, 455			
エネルキ゛ー起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂	8, 703	8, 529		8, 320	9, 223	9, 494			
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂	0			0	0	0			
自動車の台数	台	22			22	22	22			
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂	107								
0 甘港左南	≑ I. चक्क	廿日日日 77. マドキロ 什・七	4.45.45.45							

Z	叁华午及、i	計画期间及び	<u>भि 古 </u>	干吳				
	基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度~	2022	年度

報告対象 2022 年度 年度

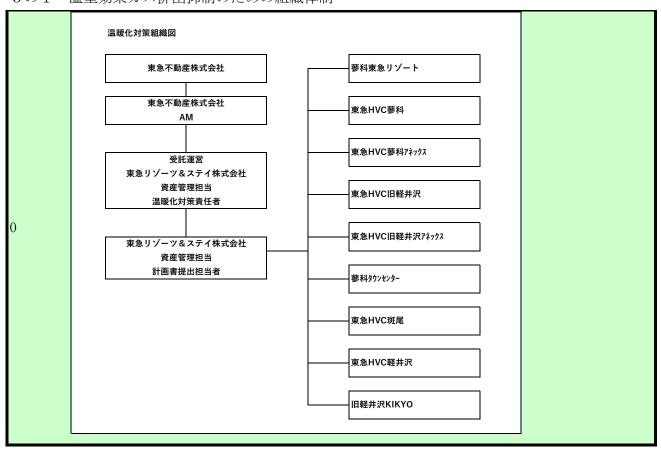
3 計画書(報告書)の公表方法等

✓	ホームページ	
	印刷物の閲覧	https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/index.html
	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

長野県内においては、蓼科3件、軽井沢4件、斑尾1件、計6件のリゾートホテル、及び蓼科に別荘地スキー場を有し、運営においては全てを子会社である東急リゾーツ&ステイ株式会社が受託しており、運営企業として地球温暖化対策に積極的に取り組む。エネルギー管理については施設管理部門及びその委託先と協力し、設備の適正な維持管理による適正なエネルギー消費、及び運用改善による省エネルギー・温室効果ガス削減に取り組む。また、機器更新については省エネルギー・温室効果ガス削減を念頭に聞き選定を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

設備管理ミーティング 1回~2回/月

6 Ø 1	エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績
$0 \vee 1$	

りの1	エイ	トノレ、	十一起原二酸化灰素	糸の併山抑制に	-徐るド	保及い夫領			
基準	年	度	基準排出量	8, 703	t-CO ₂	売上高	5, 896. 30	単位	百万円
2019	年月	度	調整後排出量	8, 703	t-CO ₂	基準原単位	1.48	t-CO ₂ /	百万円
目 標	年	度	目標排出量	8, 529	t-CO ₂	目標原単位	1. 45	t-CO ₂ /	百万円
2022	年月	度	目標削減率	1. 99	%	目標削減率	2.00	%	
目標記関する		<u>.</u>	リデー施設として比 2%の削減を目標。						
第_	·年度		排出量	8, 320	t-CO ₂	売上高	5, 072. 74	単位	百万円
//i	十戌		削減率	4. 40	%	原単位	1.64	t-CO ₂ /	百万円
2020	年月	宇	調整後排出量	8, 320	t-CO ₂	原単位削減率	-10.82	%	
2020	十万		削減率	4. 40	%				
コロナ禍の中、ゴールデンウィーク中は休館、その後はコロナ禍での営業により 売り上げ減少、GOTOトラベルにより10月11月に一時的に持ち直したものの、全体 的に売り上げ減少。それに伴い顧客稼働連動により抑えられるエネルギー使用量 も一定数存在した。									
第 一	年度		排出量	9, 223	t-CO ₂	売上高	6, 030. 12	単位	百万円
77—	. 1 /2		削減率	-5. 98	%	原単位	1.53	t-CO ₂ /	百万円
2021	年月	宇	調整後排出量	9, 223	t-CO ₂	原単位削減率	-3. 38	%	
2021	12		削減率	-5. 98	%				
排出量 増減	量等 <i>の</i> 理由)	引き続きコロナ禍 121%と増加し併せて 冬季気温が例年より 使用量も増加した。	て売上高も増加 02℃から3℃低	Dした。 &く、暖	(原単位の削減) 受房需要が増加、炉	こも貢献した 然料使用増き	き。)一 とともに	方、 電気
第三	年度		排出量	9, 494	t-CO ₂	売上高	7, 002. 11	単位	百万円
717—	- 1/2		削減率	-9. 09	t-CO ₂	原単位	1. 36	t-CO ₂ /	百万円
2022	年月	姜	調整後排出量	9, 494	t-C02	原単位削減率	8. 10	%	
	12		削減率	-9. 09	%				
	達成	<u> </u>	対基準年(2019年月 要以上に電力を使る 単に対するエネル。	わないという意	意識をし		た結果、人数	対増や売	上高

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

6002エネルギ	一起源二酸化炭素以外	・の温至効果	トカ 人の	排出抑制に係る目標が	くい 夫禎
基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明					
第一年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
分 十皮	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2020 平度	削減率		%	·	
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
州一 十及	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2021 十及	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第二左中	排出量	0	t-CO ₂		単位
第三年度	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2022 左座	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2022 年度	削減率		%	·	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の3 自動車	『の使用に伴う二酸	化炭素の排出抑制は	こ係る	目標及び実績	
基 準 年 度	基準排出量	107	t-CO ₂		単位
2019 年度	本 中护山里	101	0 002	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に関する説明					
第一年度	排出量		t-CO ₂		単位
为 十 <u>尺</u>	別山里		002	原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	削減率		%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量		t-CO ₂	F-37/71	単位
	W17-4		0/	原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	削減率		%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由					
第三年度	排出量		t-CO ₂		単位
为 —十戊	沙山里		002	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	削減率		%	原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年周	第二年度	第三年度	備考
$I \sim \Pi$	1 -1	燃料使用量等の 定期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの 励行						
Ш	Ⅲ −1	次世代自動車の 導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の 導入						

様式1号 (総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

		区分		į	計画		状況
番号	区分	番号	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110401	エネルギーフローの管理	2020~ 2022	1	2020	1
2	エネ起	110402	日使用量日負荷変動の管理	2020~ 2022	1	2020	1
3	エネ起	110402	月使用量日負荷変動の管理	2020~ 2022	1	2020	1
4	エネ起	120201	冷水用チラーの高効率製品への 更新	2022	1	2022	1
5	エネ起	150201	LEDの導入			2022	
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	第一年度		第二年度		第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	
3,000k1以上	0	0							
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0							
1,500k1未満	10	8, 703	10	8, 320	9	9, 223	9	9, 494	
合計	10	8, 703	10	8, 320	9	9, 223	9	9, 494	

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-C0_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF_3				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	22	22	22	22
次世代車導入割合				

13 交通対策状況

	1 0 AMANATO					
区分	実施内容					
公共交通機関 の利用促進	出張に於いて合理的である場合公共交通機関の利用を推進。					
自 転 車の利用促進	無し					
来 客 者 の 交 通 対 策	無し					
物流の合理化	配送物の発送日を集約化。					

14 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細			
			実施年度		
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している			
	環境マネジメント システム	環境マネジメントシステムを導入している			
		名称			
✓	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		2019	
✓	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		2020	
✓	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		2019	
✓	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		2021	
V	RE100	✓ RE100	にコミットしている	2019	
Ľ		再エブ	*100宣言RE Action へ参加している		
▽	その他		Nで間伐を計画的実施、バイオマス燃料として供給。アウトで食事配送にロボットを試験導入、CO2削減に取組む。	2019~	

			1 / - / /	て及事配とにロバノ	0021111/201047/12200	
Ī						
	1 5	自由記載欄				
ı						
ı						
L						